

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程前期課程

社会学研究科
応用社会学専攻

入試方式	実施月	社会学	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1～	外国人留学生入試と共通
	2月	P.6～	外国人留学生入試と共通 一部窓口公開のみ(WEB非公開)
社会人入学試験	9月		
	2月		
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	P.1～	一般入試と共通
	2月	P.6～	一般入試と共通 一部窓口公開のみ(WEB非公開)
学内進学入学試験	7月		
	9月		
	2月		
APU特別受入入学試験	9月		
	2月		
飛び級入学試験	2月	×	×

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程後期課程

社会学研究科
応用社会学専攻

入試方式	実施月	社会学		外国語(英語)	
		ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	P.3~	社会人入試、 外国人留学生入試と共通	P.4~	外国人留学生入試と共通
	2月	P.9~	社会人入試、 外国人留学生入試と共通	P.10~	外国人留学生入試と共通
社会人入学試験	9月	P.3~	一般入試、 外国人留学生入試と共通		
	2月	P.9~	一般入試、 外国人留学生入試と共通		
外国人留学生入学試験	9月	P.3~	一般入試、 社会人入試と共通	P.4~	一般入試と共通
	2月	P.9~	一般入試、 社会人入試と共通	P.10~	一般入試と共通
学内進学入学試験	9月			×	×
	2月			P.12~	

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

【2024年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

社会学

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の語句から 3つ を選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 福祉三法時代
2. リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ
3. 人的資本
4. 無作為抽出と有意抽出
5. 他者指向型
6. コミュニケーション二段階の流れ
7. 絶対的貧困と相対的貧困
8. 基礎年金
9. スポーツ・ツーリズム
10. 属性主義/業績主義
11. シェドウ・ワーク
12. 顕示的消費
13. コモンズの悲劇
14. 権威主義的パーソナリティ
15. アマチュアリズムとスポーツ
16. コミュニティケア
17. ミドルメディア
18. 伝統の発明
19. 象徴的暴力
20. 疑似環境

問2 次の問題から 1つ を選択し、10行以上 で、考えるところを論じなさい。

1. 新型コロナウイルスパンデミックは社会の中にある不平等を顕在化・深刻化させた。具体的な領域・トピックを設定して問題を説明しつつ、コロナ禍と不平等の関係について社会的に論じなさい。
2. 社会調査の方法として面接法や配票調査にかわってウェブ上で調査依頼と実査を行う「インターネット法」「ウェブ法」が普及してきた。こうした調査法の利点と問題点についてそれぞれ説明したうえで、利用可能性を論じなさい。
3. メディア・コングロマリットと公共性の関わりについて論じなさい。
4. 障害を個人の属性として捉える医学モデルを補完するものとして、障害の社会モデルと呼ばれる考え方がある。障害の社会モデルとは何かを説明するとともに、この考え方が障害者福祉施策にどのような影響をもたらすかについて論じなさい。

問3 以下の文章について、次の問いに答えなさい。

オートメーションの普及は、社会学者や労務管理の専門家のあいだで、労働者や労働者の技能、労働者への職務への専念の度合いに新たなテクノロジーが及ぼす影響をめぐって、①激しい論争を引き起こした。ロバート・ブラウナーは、多大な影響を及ぼした著書『労働における疎外と自由』で、技術水準が異なる四つの工業で労働者たちの経験について調べている(Blauner1964)。ブラウナーは、デュルケムとマルクスの見解を援用して、『疎外』の概念を操作し、各産業の労働者が、無力感や目標喪失、孤立感、自分の気もちの離脱感覚といったかたちで経験する疎外の度合いを測定した。ブラウナーは、組み立てラインの労働者が全体で最も疎外されているとはいえ、オートメーションを用いる職場での疎外の程度が幾分低いと結論づけた。いいかえれば、工場へのオートメーションの導入が、そうでなければ着実に増大する労働者の疎外を《逆転させる》のに寄与している、と主張した。オートメーションは、労働力を生産活動に同化する一助となり、他のテクノロジー形態で不足してきた、自分で自分の仕事を管理しているという意識を、労働者たちにもたらした。

ハリー・ブレイヴァーマンは、有名な著書『労働と独占資本』で、ブラウナーと異なる見解を述べている(Braverman1974)。ブレイヴァーマンによれば、オートメーションは、全体的に見れば工業労働力の「技能不要化」の一環である。管理者は、テイラリズムの組織運営方法を押付け、労働過程を専門分化された作業に分解することで、全従業員を監督することが可能になった。生産の場においても事務の場においても、テクノロジーの導入は、創造力のある人材投入の必要性を制限することで、こうした労働全般の「地位の低下」をもたらす。代わりに必要とされるのは、際限なく同一の非熟練の課業を遂行する、思考力と再帰的能力を欠いた身体である。

ごく最近の研究が、この論争に新たな光を投じている。社会学者のリチャード・セネットは、食品の大手複合企業体によって買収され、ハイテク機械の導入でオートメ化された製パン所で働く人たちを研究した(Sennet1998)。コンピュータ化された製造工程は、パンの作り方を徹底的に変えていった。製パン所の労働者たちは、自分の手で材料を混ぜ、生地をこね、自分の鼻と眼でパンの焼け具合を判断しなくなったため、パンの材料や焼き上がったパンに実際に接することが皆無になった。実際に、すべての工程は、コンピュータ画面を介して管理され、モニターされていた。コンピュータが、オーブンの温度と焼き時間を決めていた。時として製パン機械は、飛び切り上質なパンをつくり出したが、焦げて真っ黒になったパンが出来上がる場合もあった。この製パン所の労働者は(この人たちをパン職人と呼ぶのは間違いだろう)、この人たちがパンの焼き方に精通しているからではなく、コンピュータに熟達しているという理由で、雇用されていた。皮肉なことに、この人たちは、自分たちのコンピュータ技能をほとんど活用していなかった。製造工程は、コンピュータのボタンを押す以外ほとんど何の技術も必要とらなかった。現実には、コンピュータ化された機械がいったん故障してしまうと、製パン所の「熟練」労働者は誰も問題箇所を修理する訓練も受けていないし、その権限も与えられていなかったため、製造工程全体が停止した。セネットが調査した労働者たちは、機械を直してもう一度稼働させる手伝いをしたいと望んでいたが、それはできなかった。なぜなら、オートメーションが労働者の自律性を減少させていたからである。職場へのコンピュータ化されたテクノロジーの導入は、結果としてすべての労働者の技能を全般的に増大させた。しかし、同時にまた、自分の職務にたいして高いフレキシビリティと自律性を備え、極めて熟練度が高い専門的職業に従事する少数者集団と、自分の職務にたいする自律性を欠いて、事務部門やサービス部門、生産部門で働く人たちの多数者集団から構成される、そうした二分化された労働力を結果的に生み出した。

とはいえ、②技能をめぐる論争は解決が非常に難しい。技能という概念にしてもその測定法にしても問題を孕んでいる。フェミニズムの研究者が主張してきたように、「技能」の組成内容は、社会的に構築されている(Steinberg1990)。したがって、「熟練」労働にたいする従来の理解は、客観的な意味での課業の難しさよりも、むしろその職を典型的に占める人たちの社会的地位を反映する傾向が強い。職業の歴史には、ひとたび女性たちが労働の現場に参入すると、まったく同じ仕事に異なる技能レベルが割り当てられた(名称の変更さえおこなわれた)職務の実例で満ちあふれている(Reskin&Roos1990)。もちろん、同じことは、人種的マイノリティのように、他の地位の労働者にも当てはまる。ジェンダーや人種にたいする偏見が作用していない場合さえ、技能は多面的な様相を示す。同じ職務が、ある場面では評価を下げられるのに、別の場面では評価を格上げされることが同時に生ずるかもしれない(Block1990)。だから、オートメーションが技能を不要化するか否かについての見解は、技能のどの様相を検討するのかに左右される。スペナーは、技能をめぐる論争を全般的に論評するなかで、次のように指摘している(Spencer1983)。つまり、課業の実質的複雑さという観点から技能を検討してきた研究は、「技能の向上」論を支持する傾向にあるのにたいして、労働者が発揮する自律性なり管理能力という観点から技能を検討してきた研究は、オートメーションによって労働が現実には「技能不要化」されてきたことを見いだす傾向が強い(Zuboff1988;Vallas&Beck1996)。

(出典：アンソニー・ギデンズ(著)・松尾精文、西岡八郎、藤井達也、小幡正敏、立松隆介、内田健(訳)『社会学』而立書房、2009年、p.755-757)

1. 下線部①「激しい論争」とは、どのようなものか。本文に即してそれぞれの主張の違いを明らかにしながら200字程度で説明しなさい。
2. 下線部②にあるように、なぜ「技能をめぐる論争は解決が非常に難しい」のか。本文に即してその理由を200字程度で説明しなさい。

【2024 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

社会学

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の語句から 4つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 福祉三法時代
2. リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ
3. 人的資本
4. 無作為抽出と有意抽出
5. 他者指向型
6. コミュニケーション二段階の流れ
7. 絶対的貧困と相対的貧困
8. 基礎年金
9. スポーツ・ツーリズム
10. 属性主義/業績主義
11. シャドウ・ワーク
12. 顕示的消費
13. コモンズの悲劇
14. 権威主義的パーソナリティ
15. アマチュアリズムとスポーツ
16. コミュニティケア
17. ミドルメディア
18. 伝統の発明
19. 象徴的暴力
20. 疑似環境

問2 次の問題から 2つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 新型コロナウイルスパンデミックは社会の中にある不平等を顕在化・深刻化させた。具体的な領域・トピックを設定して問題を説明しつつ、コロナ禍と不平等の関係について社会的に論じなさい。
2. 社会調査の方法として面接法や配票調査にかわってウェブ上で調査依頼と実査を行う「インターネット法」「ウェブ法」が普及してきた。こうした調査法の利点と問題点についてそれぞれ説明したうえで、利用可能性を論じなさい。
3. メディア・コングロマリットと公共性の関わりについて論じなさい。
4. 障害を個人の属性として捉える医学モデルを補完するものとして、障害の社会モデルと呼ばれる考え方がある。障害の社会モデルとは何かを説明するとともに、この考え方が障害者福祉施策にどのような影響をもたらすかについて論じなさい。

【2024 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻

外国語（英語）

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 外国語（英語） —（横書き）

以下の文章は、再生産労働（reproductive labor）について述べられた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

The development of the concept of reproductive labor was part of a movement to challenge the invisibility of women's unpaid labor in the home. The bifurcation of activities into separate spheres of home and work dates back to the Industrial Revolution, when large numbers of men left family farms for factories, and women in many families took primary charge of the substantial labor of maintaining a home. While a gendered division of labor has a long history in the United States, in an agricultural economy almost all work took place in and around the home—from planting and harvesting crops to tending fires for heat and cooking to sewing and laundering clothes. ①The boundaries between work and family were not clearly defined in this environment and so neither gender could lay exclusive claim to one or the other. With industrialization, the newly organized gendered division of labor became the basis of a gendered definition of work: what men did in the market for pay was work, and what women did in the home for free was housework or domestic work. The ideology of separate spheres, a private one inhabited by women and a public one inhabited by men, became a central organizing idea of social life and of work in the United States.

The clear ideological demarcation between private female domesticity and public male work did not always reflect people's lived realities. (...) ②Nevertheless, the exclusive equation of work with the male public sphere was one of the linchpins of the ideology of separate spheres and has shown remarkable persistence over the centuries. ...(a) Even today, ask a woman whose primary activity is taking care of her home, her children or both what she does, and she is likely to respond, "I don't work." Feminist scholars and activists building on Marxist traditions developed the concept of reproductive labor to name women's domestic labor as *work*, and as such, an important part of the economic and social structure. Defining domestic labor as work also challenged the notion that its activities were part of women's natural role.

The concept of reproductive labor was first introduced by Karl Marx and Friedrich Engels. Marx viewed production as one of the central tasks of a society; Engels used the term "reproductive labor" to refer to the activities involved in maintaining and reproducing the labor force. Workers would not be able to work, or at least not as productively without being fed, having clean clothes, and having a clean bed to sleep in. Viewed through this lens, women's unpaid activities in the home are indispensable to the functioning of a market economy. In addition, raising children contributes directly to the future labor force. Thus, what may at first glance appear to be private and removed from the world of market work is actually intimately and inextricably connected to it. Feminist scholars who developed this idea of reproductive labor emphasized a woman's unpaid domestic labor not just as a benefit to her family, but as central to the continued existence of society.

One of the major obstacles to reframing reproductive labor as work has been the notion that what women do in the home for their own families is part of their natural role. Activities strongly associated with the feminine sphere of domesticity are "not seen as learned, skilled, required, but only the expression of the character or style of women in general." Unpaid domestic labor not only goes unremunerated, but also is detached from the associations of skill, moral worth, and dignity that accompany the designation of an activity as work. Part of the project of feminist analysis of reproductive labor has been to name the intimate labor of the home as work, thereby making it more visible and socially recognized.

問 1 下線部①、②を和訳しなさい。

問 2 点線部 (a) で描写されるような女性が、"I don't work"と答えるのはなぜか。本文の内容に即して説明しなさい。

Used with permission of Rutgers University Press, from *Making care count : a century of gender, race, and paid care work*, by Mignon Duffy, 2011; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

【2024 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

社会学

＜受験上の注意事項＞					
1. 答案用紙の記入の仕方					
研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名
2. 解答方法 解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。					
3. 持ち込み許可物件 持ち込み許可物件はなし。					
4. その他 問題用紙・メモ用紙も提出すること。					

— 社会学 —（横書き）

問1 次の20の語句から3つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 公共圏
2. 主我と客我
3. 相対的剥奪
4. ドラマトゥルギー
5. ハビトゥス
6. 集合意識
7. カリスマ的支配
8. 弾丸理論
9. 潜在的ニード
10. 予期的社会化
11. 福祉ミックス（ウェルフェア・ミックス）
12. 生活保護における補完性の原理
13. 要介護認定
14. 啓蒙の弁証法
15. リキッド・モダニティ
16. 構造機能主義理論
17. ダークツーリズム
18. スポーツとナショナリズム（の様々な結びつき）
19. オリンピック・パラリンピックにおける権利ビジネス
20. 限界芸術

問2 次の4つの問題から1つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 「基礎集団」と「機能集団」に関する社会学の考え方をいくつか提示し説明したうえで、そのなかの一つの考え方を事例に、現代社会の特徴を論じなさい。
2. 「生活世界の植民地化」として捉えられる社会現象について、公的領域と私的領域との関係性に着目しながら論じなさい。
3. コロナ禍におけるトイレットペーパーの品不足の原因を、メディアと「予言の自己成就」理論を用いて説明しなさい。
4. 日本で長い歴史を持つ社会福祉法人は、1990年代以降、組織の存在意義や役割が議論されてきた。社会福祉法人の概要と各時代で組織の存在意義がどのように議論されてきたかを論じなさい。

問3 以下の文章は、「逸脱と他者の反応」について論じたものである。それを読んだうえで、次の問いに答えなさい。

この問題は、公開していません。

(出典:ハワード・S. ベッカー『アウトサイダーズ—ラベリング理論とはなにか—』村上直之訳, 新泉社, 1993 年, 一部改変)

1. 下線部①にある、筆者の述べる「逸脱は社会によって生み出される」とは、どのようなことか。一般的な理解との違いが分かるように、本文に即して 200 字程度で説明しなさい。
2. 下線部②「ある行為が逸脱行為であるか否かは、他の人びとがそれにどのように反応するかをまたなければならない」とある。なぜ他の人びとの反応をまたなければならないのか。本文に即して 200 字程度で説明しなさい。

【2024 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

社会学

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から4つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 公共圏
2. 主我と客我
3. 相対的剥奪
4. ドラマトゥルギー
5. ハビトゥス
6. 集合意識
7. カリスマ的支配
8. 弾丸理論
9. 潜在的ニード
10. 予期的社会化
11. 福祉ミックス (ウェルフェア・ミックス)
12. 生活保護における補完性の原理
13. 要介護認定
14. 啓蒙の弁証法
15. リキッド・モダニティ
16. 構造機能主義理論
17. ダークツーリズム
18. スポーツとナショナリズム (の様々な結びつき)
19. オリンピック・パラリンピックにおける権利ビジネス
20. 限界芸術

問2 次の4つの問題から2つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 「基礎集団」と「機能集団」に関する社会学の考え方をいくつか提示し説明したうえで、そのなかの一つの考え方を事例に、現代社会の特徴を論じなさい。
2. 「生活世界の植民地化」として捉えられる社会現象について、公的領域と私的領域との関係性に着目しながら論じなさい。
3. コロナ禍におけるトイレトペーパーの品不足の原因を、メディアと「予言の自己成就」理論を用いて説明しなさい。
4. 日本で長い歴史を持つ社会福祉法人は、1990年代以降、組織の存在意義や役割が議論されてきた。社会福祉法人の概要と各時代で組織の存在意義がどのように議論されてきたかを論じなさい。

【2024 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻

外国語（英語）

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 外国語（英語） —（横書き）

以下は、ケア労働者（care workers）について書かれた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

The most obvious reason to pay attention to care workers is that meeting the most basic needs of our society relies on their labor. And this labor force is riddled with problems: child-care workers earn among the lowest wages in the country; registered nurses are under increasing pressure in an environment of understaffing and expanding demands; housekeepers and nannies who are undocumented immigrants have little guarantee of fair treatment; and an exponentially growing number of health-care support workers like hospital orderlies and home-care aides work for low wages under difficult conditions. These kinds of problems are certainly not unique to the care sector, but in these cases there are immediate human consequences not only for the workers and their families but also for those in their care. The wages and working conditions of care workers are directly linked to the quality and availability of care. Occupations that offer little opportunity for advancement, low wages, and difficult working conditions cannot consistently attract enough talented individuals to fill them. And ①we cannot expect the best care possible from workers worn down by the pressures of understaffing, by having to hold down multiple jobs, or by both. Understanding the paid care sector is critical to moving toward solutions to the current crisis in care in the United States.

The second reason to study the paid care sector is that its division of labor is crucial territory for analyzing the intersections of gender, racial-ethnic, and class inequalities. Feminists have understood the gendered division of labor that assigns care of home and family to women to be one of the linchpins of systematic gender inequality across U.S. society. The basic argument is that women's responsibility for unpaid work in the home disadvantages them in the labor market, both through periodic or long-term absences and through the burden of the second shift that wage-earning women still bear in the home. These labor-market disadvantages contribute to women's earning less than men as well as to the glass ceiling that makes it more challenging for women to advance to the highest levels of power in the workplace. In turn, this inequality at the macro level maintains material constraints and ideological norms that uphold the gendered division of labor in the home. That is, women with less access to economic resources and less societal power have less leverage in individual relationships with men. ②This dynamic is aggravated by the fact that many of the jobs in which women have been concentrated have been seen as paid versions of the jobs they do at home—taking care of children, watching over the sick, and cleaning people's houses and hospital rooms. The often low wage levels in these occupations make women even more economically vulnerable.

But as Evelyn Nakano Glenn has pointed out, feminist analysis has largely ignored racial-ethnic, class, and citizenship differences among women, and most theoretical treatments of racial-ethnic inequality focus on the

paid labor market and pay scant attention to gender. Nakano Glenn argues that analysis of the racial division of care work is "key to the distinct exploitation of women of color ... and essential to the development of an integrated model of race and gender. " The distribution of care work, paid and unpaid, has both shaped and been shaped by the history of gender, racial-ethnic, and class divisions in the United States. To analyze the intersection of these inequalities requires an understanding of their relationship to care work.

問1 下線部 ①、②を和訳しなさい。

問2 文中に2箇所ある点線部の **intersection** とは、ここではどのような状態を指しているか。ケアワークの文脈に即して説明しなさい。

Used with permission of Rutgers University Press, from *Making care count : a century of gender, race, and paid care work*, by Mignon Duffy, 2011; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

【2024年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

外国語（英語）

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 外国語（英語） —（横書き）

以下は、ケア労働者（care workers）について書かれた文章である。以下の問いに答えなさい。

The most obvious reason to pay attention to care workers is that meeting the most basic needs of our society relies on their labor. And this labor force is riddled with problems: child-care workers earn among the lowest wages in the country; registered nurses are under increasing pressure in an environment of understaffing and expanding demands; housekeepers and nannies who are undocumented immigrants have little guarantee of fair treatment; and an exponentially growing number of health-care support workers like hospital orderlies and home-care aides work for low wages under difficult conditions. These kinds of problems are certainly not unique to the care sector, but in these cases there are immediate human consequences not only for the workers and their families but also for those in their care. The wages and working conditions of care workers are directly linked to the quality and availability of care. Occupations that offer little opportunity for advancement, low wages, and difficult working conditions cannot consistently attract enough talented individuals to fill them. And ①we cannot expect the best care possible from workers worn down by the pressures of understaffing, by having to hold down multiple jobs, or by both. Understanding the paid care sector is critical to moving toward solutions to the current crisis in care in the United States.

The second reason to study the paid care sector is that its division of labor is crucial territory for analyzing the intersections of gender, racial-ethnic, and class inequalities. Feminists have understood the gendered division of labor that assigns care of home and family to women to be one of the linchpins of systematic gender inequality across U.S. society. The basic argument is that women's responsibility for unpaid work in the home disadvantages them in the labor market, both through periodic or long-term absences and through the burden of the second shift that wage-earning women still bear in the home. ②These labor-market disadvantages contribute to women's earning less than men as well as to the glass ceiling that makes it more challenging for women to advance to the highest levels of power in the workplace. In turn, this inequality at the macro level maintains material constraints and ideological norms that uphold the gendered division of labor in the home. That is, women with less access to economic resources and less societal power have less leverage in individual relationships with men. ③This dynamic is aggravated by the fact that many of the jobs in which women have been concentrated have been seen as paid versions of the jobs they do at home—taking care of children, watching over the sick, and cleaning people's houses and hospital rooms. The often low wage levels in these occupations make women even more economically vulnerable.

But as Evelyn Nakano Glenn has pointed out, feminist analysis has largely ignored racial-ethnic, class, and citizenship differences among women, and most theoretical treatments of racial-ethnic inequality focus on the

paid labor market and pay scant attention to gender. Nakano Glenn argues that analysis of the racial division of care work is "key to the distinct exploitation of women of color ... and essential to the development of an integrated model of race and gender." The distribution of care work, paid and unpaid, has both shaped and been shaped by the history of gender, racial-ethnic, and class divisions in the United States. To analyze the intersection of these inequalities requires an understanding of their relationship to care work.

問1 下線部 ①、②、③を和訳しなさい。

Used with permission of Rutgers University Press, from *Making care count : a century of gender, race, and paid care work*, by Mignon Duffy, 2011; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.